

2026年8月期 業績 および 2027年8月期 業績予想

岡崎 健

株式会社ファーストリテイリング

取締役 グループ上席執行役員 CFO

目次

I. 2026年8月期 決算概要	P. 3	～	P. 21
II. 2027年8月期 業績予想	P. 22	～	P. 28
III. 参考資料	P. 29	～	P. 32

【業績開示について】

- ・国際財務報告基準（IFRS）を適用、本資料上の数字は、すべてIFRSベースで記載しております。
- ・事業利益は、売上収益から売上原価、販管費を控除して算出しております。
- ・利益は、特段の記載がない限り、事業利益を示しております。
- ・各セグメントの構成は、以下の通りです。
国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業が含まれております。
海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業が含まれております。
ジーユー事業：日本・海外で展開するジーユー事業が含まれております。
グローバルブランド事業：セオリー事業、プラステ事業、コントワー・デ・コトニエ/プリンセス タム・タム事業が含まれております。
- ・連結業績には、上記のほか、ファーストリテイリングの業績、連結調整などが含まれております。

【将来予測に関するご注意】

- ・本資料に掲載されている業績予想、計画、目標数値などのうち、歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報に基づき作成した将来情報です。実際の業績は、経済環境、市場の需要、価格競争に対する対応、為替などの変動により、業績予想、計画、目標数値と大きく異なる場合があります。

【連結】2026年8月期 実績

大幅な増収増益、5期連続で過去最高の業績を達成

・7月に発表した業績予想に対して、売上は若干下回るも、期を通して好調な販売となり、売上収益で5,628億円の増収、事業利益で1,673億円の増益と、これまでに最も高い事業成長を実現

単位：億円	2025年8月期	2026年8月期						
	通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比	直近予想 (7/9)
売上収益	34,005	20,552	+14.8%	19,081	+18.5%	39,633	+16.6%	39,700
売上総利益 (売上比)	18,288 53.8%	11,115 54.1%	+16.4% +0.8p	10,769 56.4%	+23.2% +2.1p	21,885 55.2%	+19.7% +1.4p	- -
販管費 (売上比)	12,777 37.6%	7,246 35.3%	+10.9% ▲1.2p	7,454 39.1%	+19.4% +0.3p	14,700 37.1%	+15.1% ▲0.5p	- -
事業利益 (売上比)	5,511 16.2%	3,869 18.8%	+28.3% +1.9p	3,315 17.4%	+32.9% +1.9p	7,184 18.1%	+30.4% +1.9p	7,100 17.9%
その他収益・費用	131	137	+438.4%	109	+3.4%	246	+87.9%	200
営業利益 (売上比)	5,642 16.6%	4,006 19.5%	+31.7% +2.5p	3,424 17.9%	+31.7% +1.8p	7,431 18.7%	+31.7% +2.1p	7,300 18.4%
金融収益・費用	863	281	▲52.7%	312	+16.6%	593	▲31.2%	500
税引前利益 (売上比)	6,505 19.1%	4,288 20.9%	+17.9% +0.6p	3,737 19.6%	+30.3% +1.8p	8,025 20.2%	+23.4% +1.1p	7,800 19.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (売上比)	4,330 12.7%	2,792 13.6%	+19.6% +0.6p	2,632 13.8%	+32.0% +1.4p	5,425 13.7%	+25.3% +1.0p	5,000 12.6%

【連結】決算ハイライト

- ・ユニクロ事業が、すべての地域で増収増益を達成し、グループ全体の事業拡大をけん引
- ・ユニクロ事業は、期を通して、LifeWearの価値を伝える質の高い出店を継続したことに加え、戦略的に商品と売場づくり、情報発信の連動を強化したことで、お客様からのブランドへの支持が高まり、大きく事業を拡大
- ・商品面では、ボトムスやTシャツなどの通年商品、ヒートテックやUVカットなどの機能性商品に、トレンドのシルエットや素材を反映させ、お客様に新しい価値を訴求できたことで、好調な販売
- ・ジーユー事業は、増収、大幅な増益。事業構造改革は道半ばも、販売計画や在庫などのオペレーションの質が向上しつつある

【連結】2026年8月期 事業利益

売上収益 3兆4,005億円→3兆9,633億円

	上期	下期	通期
連結	+2,650億円	+2,978億円	+5,628億円
国内UQ	+401億円	+185億円	+587億円
海外UQ	+2,272億円	+2,736億円	+5,008億円
GU	+26億円	+33億円	+60億円
GB	▲50億円	+20億円	▲29億円

為替影響

	上期	下期	通期
連結	+2.3%	+6.4%	+4.4%
USD	+1.4%	+8.8%	+5.0%
人民幣	+3.0%	+15.3%	+9.1%
ユーロ	+10.4%	+12.8%	+11.6%
ウォン	▲1.5%	+3.3%	+0.9%

3兆9,633億円
+16.6%

売上総利益率 53.8%→55.2%

	上期	下期	通期
連結	+0.8p	+2.1p	+1.4p
国内UQ	▲0.2p	+0.3p	▲0.1p
海外UQ	+1.1p	+2.4p	+1.7p
GU	+1.1p	+1.0p	+1.0p
GB	+0.7p	+3.7p	+2.3p

売上高販管費率 37.6%→37.1%

	上期	下期	通期
連結	▲1.2p	+0.3p	▲0.5p
国内UQ	▲1.2p	+0.5p	▲0.4p
海外UQ	▲1.0p	▲0.1p	▲0.6p
GU	▲0.3p	+0.9p	+0.3p
GB	+3.5p	+0.7p	+2.1p

事業利益率 16.2%→18.1%

	上期	下期	通期
連結	+1.9p	+1.9p	+1.9p
国内UQ	+1.0p	▲0.3p	+0.4p
海外UQ	+2.1p	+2.6p	+2.2p
GU	+1.5p	+0.1p	+0.8p
GB	-	+3.0p	+0.2p

2兆1,885億円
+19.7%

1兆4,700億円
+15.1%

販管費

7,184億円
+30.4%

246億円
その他収益・費用

7,431億円
+31.7%

2026年8月期
売上収益

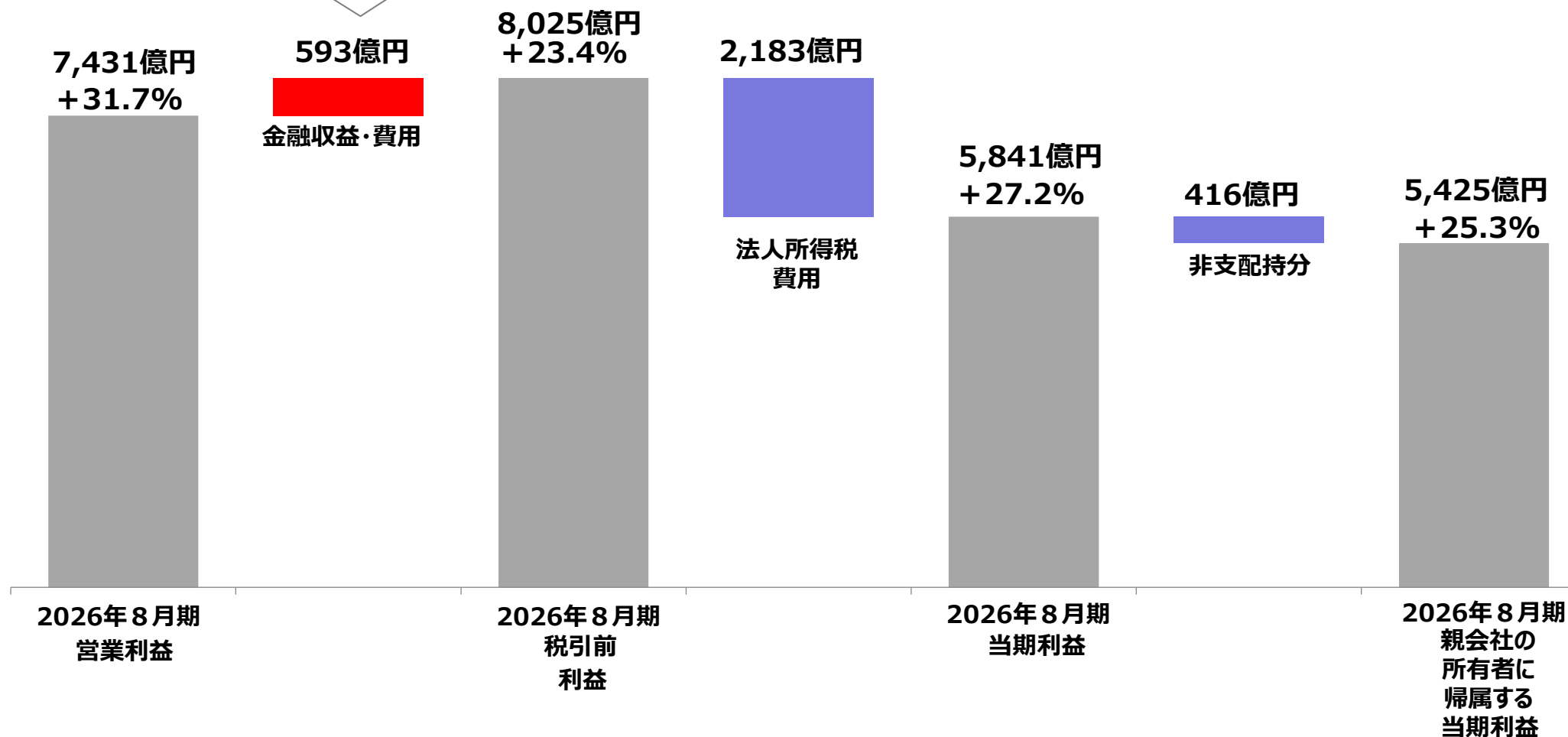
2026年8月期
売上総利益

2026年8月期
事業利益

2026年8月期
営業利益

【連結】2026年 8 月期 親会社の所有者に 帰属する当期利益

受取・支払利息 : 522億円
為替差益 : 71億円
※期首為替レート : 1 USD = 146.9円
8月末為替レート : 1 USD = 160.0円



【セグメント別】2026年8月期 実績

単位：億円		2025年8月期	2026年8月期					
		通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比
国内ユニクロ事業	売上収益	10,260	5,817	+7.4%	5,031	+3.8%	10,848	+5.7%
	事業利益 (売上比)	1,813 17.7%	1,107 19.0%	+13.4% +1.0p	853 17.0%	+1.9% ▲0.3p	1,960 18.1%	+8.1% +0.4p
	その他収益・費用	30	7	+945.1%	▲1	-	5	▲81.4%
	営業利益 (売上比)	1,844 18.0%	1,114 19.2%	+14.1% +1.2p	852 16.9%	▲1.8% ▲1.0p	1,966 18.1%	+6.6% +0.1p
海外ユニクロ事業	売上収益	19,102	12,413	+22.4%	11,697	+30.5%	24,111	+26.2%
	事業利益 (売上比)	3,053 16.0%	2,330 18.8%	+37.4% +2.1p	2,068 17.7%	+52.4% +2.6p	4,398 18.2%	+44.1% +2.2p
	その他収益・費用	40	10	-	71	+42.0%	82	+105.1%
	営業利益 (売上比)	3,093 16.2%	2,341 18.9%	+38.9% +2.3p	2,139 18.3%	+52.0% +2.6p	4,481 18.6%	+44.9% +2.4p
ジーユー事業	売上収益	3,307	1,684	+1.6%	1,682	+2.1%	3,367	+1.8%
	事業利益 (売上比)	283 8.6%	157 9.4%	+20.1% +1.5p	157 9.3%	+3.2% +0.1p	315 9.4%	+11.0% +0.8p
	その他収益・費用	21	6	▲11.7%	7	▲48.5%	13	▲35.2%
	営業利益 (売上比)	305 9.2%	164 9.8%	+18.3% +1.4p	164 9.8%	▲1.0% ▲0.3p	328 9.8%	+7.8% +0.6p
グローバル ブランド事業	売上収益	1,315	627	▲7.5%	658	+3.3%	1,285	▲2.3%
	事業利益 (売上比)	26 2.0%	▲7 -	- -	35 5.4%	+134.6% +3.0p	28 2.2%	+6.8% +0.2p
	その他収益・費用	▲36	5	-	10	-	16	-
	営業利益 (売上比)	▲9 -	▲1 -	- -	46 7.0%	- -	44 3.5%	- -

注：連結業績には上記のほか、ファーストリテイリングの不動産賃貸事業や、各報告セグメントに帰属しない調整額などを含む

【国内ユニクロ事業】2026年8月期 実績

増収増益、過去最高の業績

- ・業績予想通りの水準
- ・トレンドのシルエットや素材を反映した商品やお客様ニーズに合った機能性商品の販売が好調
- ・上期を中心に、人件費比率や賃借料比率が低下し、販管費比率が改善したことで、通期の事業利益率は改善
- ・下期の営業利益は若干の減益。前年同期は、その他収益に、店舗の減損損失の戻入益を約30億円計上し、利益が持ち上がっていたため

単位：億円	2025年8月期	2026年8月期					
	通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比
売上収益	10,260	5,817	+7.4%	5,031	+3.8%	10,848	+5.7%
売上総利益 (売上比)	5,198 50.7%	2,902 49.9%	+6.9% ▲0.2p	2,590 51.5%	+4.3% +0.3p	5,492 50.6%	+5.7% ▲0.1p
販管費 (売上比)	3,384 33.0%	1,795 30.9%	+3.2% ▲1.2p	1,736 34.5%	+5.6% +0.5p	3,532 32.6%	+4.4% ▲0.4p
事業利益 (売上比)	1,813 17.7%	1,107 19.0%	+13.4% +1.0p	853 17.0%	+1.9% ▲0.3p	1,960 18.1%	+8.1% +0.4p
その他収益・費用	30	7	+945.1%	▲1	-	5	▲81.4%
営業利益 (売上比)	1,844 18.0%	1,114 19.2%	+14.1% +1.2p	852 16.9%	▲1.8% ▲1.0p	1,966 18.1%	+6.6% +0.1p

【国内ユニクロ事業】売上収益

既存店売上高：+5.1%

- ・期を通して、ウルトラストレッチパンツやUVカットなどの機能性商品やバレルパンツなどのトレンドのシルエットを反映した商品が売上をけん引し、好調な販売
- ・4Q3カ月間は▲4.0%。6月と8月の気温が前年に比べて低かったことや、台風や豪雨などの影響を受け、打ち出していた夏物商品の需要が伸び悩んだことによる
- ・通期のインバウンド売上高：大幅な増収。売上構成比約11%
- ・通期のEC売上高：1,620億円、+6.3%。売上構成比15.0%
- ・2026年9月の既存店売上高：+10.8%。気温が低下し、秋冬商品が好調な販売

既存店 前年同期比	2026年8月期											
	上期	3月	4月	5月	3Q3カ月	9カ月累計	6月	7月	8月	4Q3カ月	下期	通期
売上高	+6.5%	+9.2%	+10.2%	+10.1%	+9.9%	+7.6%	▲14.1%	+4.3%	▲1.3%	▲4.0%	+3.5%	+5.1%
客数	+1.0%	+4.5%	+6.9%	+8.4%	+6.9%	+2.9%	▲15.0%	▲0.2%	▲9.1%	▲8.0%	▲0.6%	+0.2%
客単価	+5.4%	+4.5%	+3.1%	+1.6%	+2.9%	+4.5%	+1.1%	+4.5%	+8.6%	+4.4%	+4.1%	+4.8%

【国内ユニクロ事業】粗利益率、販管費比率

粗利益率：50.6%、▲0.1 p 低下

- ・上期：▲0.2 p 低下
 - ✓ 調達に使用する為替予約レートが円安となり、原価率が上昇
- ・下期：+0.3 p 改善
 - ✓ 主に、4 Q 3 カ月間の粗利益率が+0.4 p 改善したことによる
 - ✓ 4 Q 3 カ月間は、調達に使用する為替予約レートは円安となるも、追加発注の数量の減少により、スポット為替レートの影響が低減したことで、原価率が改善

粗利益率	2025年8月期	2026年8月期	
	実績	実績	前年同期比
通期	50.7%	50.6%	▲0.1p
上期	50.1%	49.9%	▲0.2p
下期	51.2%	51.5%	+0.3p
3 Q	52.4%	52.4%	±0.0p
4 Q	49.9%	50.3%	+0.4p

販管費比率：32.6%、▲0.4 p 改善

- ・上期：▲1.2 p 改善
 - ✓ 増収となったことで人件費比率や賃借料比率が低下
- ・下期：+0.5 p 上昇
 - ✓ 主に、4 Q 3 カ月間に賞与が増加し、人件費比率が上昇

【海外ユニクロ事業】2026年8月期 実績

大幅な増収増益、過去最高の業績を更新

- ・現地通貨ベースで、韓国、東南アジア・インド・豪州地区、北米、欧州は、2桁の増収増益、グレーターチャイナは、増収、2桁の増益と、全地域で成長が継続
- ・7月に発表した業績予想に対して売上収益は、若干の下振れ。4Q3カ月間に、欧州で気温が高く推移したことで秋冬商品の需要が伸び悩む。欧州以外の地域の業績はすべて予想通り
- ・通年商品の販売が拡大したことに加え、継続的な旗艦店の出店や、ブランド発信により、LifeWearへの支持が広がったことで、顧客層の拡大が進んだ1年となった

単位：億円	2025年8月期	2026年8月期					
	通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比
売上収益	19,102	12,413	+22.4%	11,697	+30.5%	24,111	+26.2%
売上総利益 (売上比)	10,669 55.9%	6,988 56.3%	+24.8% +1.1p	6,896 59.0%	+36.1% +2.4p	13,885 57.6%	+30.1% +1.7p
販管費 (売上比)	7,616 39.9%	4,658 37.5%	+19.3% ▲1.0p	4,828 41.3%	+30.1% ▲0.1p	9,486 39.3%	+24.6% ▲0.6p
事業利益 (売上比)	3,053 16.0%	2,330 18.8%	+37.4% +2.1p	2,068 17.7%	+52.4% +2.6p	4,398 18.2%	+44.1% +2.2p
その他収益・費用	40	10	-	71	+42.0%	82	+105.1%
営業利益 (売上比)	3,093 16.2%	2,341 18.9%	+38.9% +2.3p	2,139 18.3%	+52.0% +2.6p	4,481 18.6%	+44.9% +2.4p

為替影響を除いた現地通貨ベース：+約18%

移転価格税制による事前の合意で、一部の国はロイヤリティ料率が上がり、販管費比率は+0.2pの影響。連結全体の業績は影響なし

為替影響を除いた現地通貨ベース：+約35%

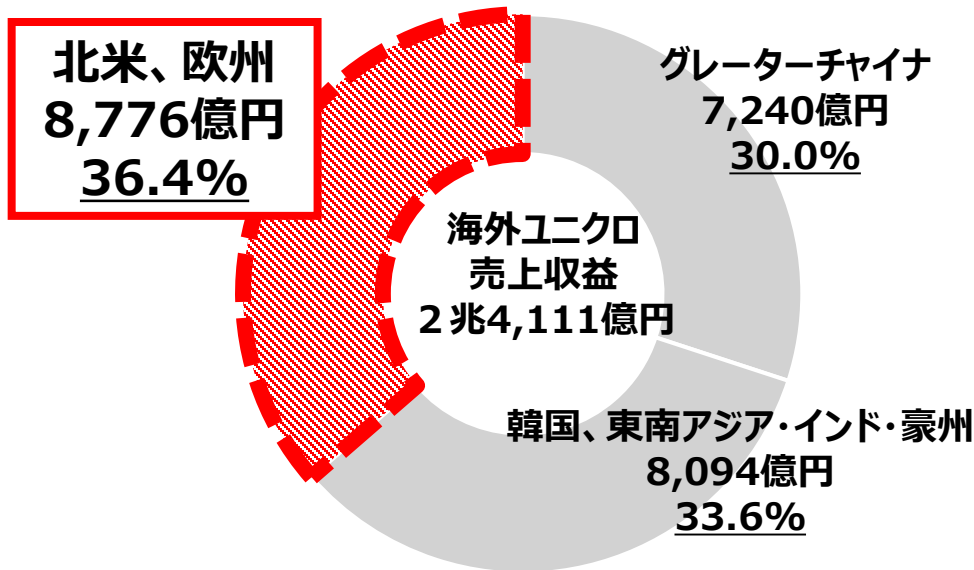
為替影響を除いた現地通貨ベース：+約36%

【海外ユニクロ事業】地域別 実績

欧米がグループ成長をけん引する太い柱へ成長

- ・すべての地域で好業績となり、グローバルで持続的に成長できる体制がより強固になった
- ・欧米は、売上規模が、グレーターチャイナ、韓国・東南アジア・インド・豪州地区を初めて抜く。グループの成長をけん引する太い柱に成長
- ・事業利益率は、すべての地域で上昇、収益性も改善

海外ユニクロ事業：地域別売上構成比



<地域別 売上収益・事業利益・営業利益>

単位：億円	グレーターチャイナ		韓国、東南アジア・インド・豪州		北米		欧州	
		前期比		前期比		前期比		前期比
売上収益	7,240	+ 11.3%	8,094	+ 30.7%	3,649	+ 34.6%	5,126	+ 38.7%
事業利益 (売上比)	1,120 15.5%	+ 24.6% + 1.7p	1,683 20.8%	+ 44.0% + 1.9p	679 18.6%	+ 53.3% + 2.3p	917 17.9%	+ 69.0% + 3.2p
営業利益 (売上比)	1,171 16.2%	+ 26.4% + 2.0p	1,697 21.0%	+ 45.8% + 2.2p	682 18.7%	+ 52.8% + 2.2p	932 18.2%	+ 68.1% + 3.2p

グレーターチャイナ：増収、２桁の増益

- ・円ベースの売上収益：7,240億円、+11.3%、事業利益：1,120億円、+24.6%
- ・7月に発表した業績予想に対して、ほぼ計画通り

【中国大陸市場】売上収益は+約3%、事業利益は+約18%

- ・事業利益率は、粗利益率、販管費比率がともに改善し、約16%まで上昇
- ・4Q3カ月間の既存店売上高も引き続き、増収。マーケティングを強化したカジュアルインナーやラウンジボトムス、エアリズムインナーなどの販売が好調
- ・2026年8月期は、構造改革が着実に進み、再成長に向けて手応えがあった1年
1) 旗艦店の出店やグローバルブランドとしてのマーケティングを強化したことでブランドポジションがより強固になる。2) U T のイベントなど現地ニーズに合わせた販促イベントを積極的に実施したことで、若年層を中心に、顧客層が拡大。
3) 店舗ごとの商品構成、SKU管理の強化、店舗網の見直しを継続的に進めていることで、1店舗当たりの売上高は着実に上昇しつつある

【香港・台湾市場】増収増益

- ・上期は旧正月商戦が好調、下期はミニTやUVカットなどの販売が好調



▲グローバルブランドとしてのマーケティングを強化

韓国、東南アジア・インド・豪州地区：２桁の増収増益

- ・円ベースで、通期の売上収益は、8,094億円、+30.7%、事業利益は1,683億円、+44.0%
- ・粗利益率、販管費比率がともに改善し、事業利益率は20.8%と、+1.9 p 改善。ほぼ業績予想通りの水準

【韓国】２桁の増収増益

- ・現地のお客様のLifeWearへの認知と支持が継続して拡大していること、
戦略的に売り込む商品を決め、在庫・売場・マーケティングを連動させ、販売を強化したことで、好調な業績
- ・スウェット、フリース、ヒートテックなどの定番商品、バレルレッグパンツ、フーデッドリブTなどトレンドを捉えた新商品の販売も好調
- ・通期の事業利益率は、粗利益率、販管費比率がともに改善した結果、上昇

【東南アジア・インド・豪州地区】２桁の増収増益

- ・事業利益率は、粗利益率、販管費比率がともに改善し、上昇
- ・既存店売上高も通期で２桁の増収。商品構成や販売計画の改善により、高い成長が継続
 - ✓ 上期：ヒートテックや半袖ニットなど、冬物商品の売上拡大が業績をけん引
 - ✓ 下期：感謝祭などの大型商戦での販売が好調。値引き販売を抑制しながら、
商戦期に戦略的に販促を行ったことで集客につながり、UVカット群やイージーボトムスを中心に売上が好調
- ・地域別では、すべての国が通期で増収増益を達成

北米：２桁の増収増益

- ・円ベースの売上収益：3,649億円、+34.6%、事業利益：679億円、+53.3%。業績予想通り
- ・事業利益率：18.6%。粗利益率が改善したことで+2.3 p

【米国】２桁の増収増益

- ・既存店売上高も２桁の増収。
- ・新店オープンに伴うニュース発信や商品価値の継続的な訴求が、ブランド認知の拡大に寄与したことに加え、バレルパンツやスウェットなど、トレンドを捉えた商品が新規顧客の獲得につながる
- ・通期の事業利益率は、改善。値引率の改善などにより、粗利益率が改善したことによる

【カナダ】２桁の増収増益

- ・既存店売上高は２桁の増収。売り込む商品と販売時期を戦略的に決め、在庫の確保やマーケティングの強化を実施したことで、期を通して好調な販売
- ・今期オープンした新店の販売も好調で、増収に寄与

欧州：２桁の増収増益

- ・円ベースの売上収益：5,126億円、+38.7%、事業利益：917億円、+69.0%
- ・４Ｑ３カ月間は、例年より気温が高く推移し、業績予想をやや下回るも、34%の高い売上成長が継続
- ・通期の既存店売上高は、現地通貨ベースで２桁の増収と、好調
- ・英国・ブリストル、ドイツ・ミュンヘン、オランダ・ユトレヒトなどの新規都市への出店を継続的に実施、いずれも大成功を収め、欧州でのユニクロのプレゼンスがさらに高まる
- ・スウェット、シャツなどコア商品の販売が好調、商品に対する高い信頼と期待が継続していることに加え、ミニＴやキュロット、バレルパンツなど新商品の販売も新たな顧客層の獲得に寄与。
- ・通期の既存店売上高は、現地通貨ベースで２桁の増収と、好調
- ・事業利益率：17.9%。粗利益率、販管費比率が改善し、+3.2p
 - ✓ 粗利益率：値引き販売の抑制により、改善
 - ✓ 販管費比率：物流費比率を中心に改善。昨年は新たな自動化倉庫の設立により、一時的に、複数倉庫体制で運用したことで物流費比率が上昇した一方、今年の３月より解消されたため

【ジーユー事業】2026年8月期 実績

増収、大幅な増益、業績予想を下回る

- ・4 Q 3 カ月間の売上収益は減収、事業利益は若干の赤字。商品全体を刷新し、2026年秋冬から新しいコレクションに切り替わる過渡期であったため、夏物需要に対応しきれなかったことに加え、商品構成のバランスに課題が残り、販売に苦戦
- ・戦略的にマーケティングや、倉庫キャパシティを拡充したことでコストが増加。
グループ全体の好業績を受け、ジーユーも賞与を増やしたことで、人件費が増加し、販管費比率が上昇
- ・事業構造改革はまだ途上であるものの、期を通して、売れ筋商品への品番数の絞り込みと、販売計画の精度向上に取り組んできたことで、オペレーションの質は向上。販売好調な商品も出始める
- ・8月末から商品を一新、新たなジーユーの世界観はお客様へ十分に浸透しておらず、認知拡大に向けてブランディングを一層強化

単位：億円	2025年8月期	2026年8月期					
	通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比
売上収益	3,307	1,684	+ 1.6%	1,682	+ 2.1%	3,367	+ 1.8%
売上総利益 (売上比)	1,612 48.8%	832 49.4%	+ 4.0% + 1.1p	844 50.2%	+ 4.1% + 1.0p	1,677 49.8%	+ 4.0% + 1.0p
販管費 (売上比)	1,328 40.2%	675 40.1%	+ 0.8% ▲ 0.3p	687 40.9%	+ 4.3% + 0.9p	1,362 40.5%	+ 2.5% + 0.3p
事業利益 (売上比)	283 8.6%	157 9.4%	+ 20.1% + 1.5p	157 9.3%	+ 3.2% + 0.1p	315 9.4%	+ 11.0% + 0.8p
その他収益・費用	21	6	▲ 11.7%	7	▲ 48.5%	13	▲ 35.2%
営業利益 (売上比)	305 9.2%	164 9.8%	+ 18.3% + 1.4p	164 9.8%	▲ 1.0% ▲ 0.3p	328 9.8%	+ 7.8% + 0.6p

減収増益、業績予想を下回る

・現地通貨ベースの売上収益は▲約6%。構造改革を進めているセオリー事業の影響による。業績予想を下回る

【セオリー事業】グローバルで構造改革の過渡期。通期で減収、利益はほぼ前年並み

1) グローバルで卸売り販売が減少、2) 米国のECアウトレットサイトを閉鎖したことで、上期を中心に減収

・戦略的に品番数を絞り、集中的にマーケティング。セーターやシャツ、ポロシャツの販売が好調、既存店売上高は通期で増収

【プラステ事業】通期で増収増益

・お客様のニーズを捉えたプレシャスニット群、プレシャスドライ群などメンズ商品の販売が好調、スタイリング発信の強化により、EC販売が業績をけん引。粗利益率、販管費比率がともに改善したことで、事業利益率も改善

【CDC/PTT事業】減収、事業赤字は若干縮小、営業赤字は、前年に減損損失を計上したため、大幅に縮小

・構造改革の一環で、不採算店舗を中心に、店舗網を集約。8月末の店舗数が前年同期の98店舗から77店舗へ減少し、減収

単位：億円	2025年8月期	2026年8月期					
	通期実績	上期実績	前年同期比	下期実績	前年同期比	通期実績	前期比
売上収益	1,315	627	▲7.5%	658	+3.3%	1,285	▲2.3%
事業利益 (売上比)	26 2.0%	▲7 -	- -	35 5.4%	+134.6% +3.0p	28 2.2%	+6.8% +0.2p
その他収益・費用	▲36	5	-	10	-	16	-
営業利益 (売上比)	▲9 -	▲1 -	- -	46 7.0%	- -	44 3.5%	- -

為替影響を除いた
現地通貨ベース：
▲約6%

為替影響を除いた
現地通貨ベース：
+約10%

【連結】2026年8月末 B/S

単位：億円	2025年8月期末	2026年8月期末	増 減
資産合計	38,593	45,494	+ 6,901
流動資産	25,278	30,203	+ 4,925
非流動資産	13,315	15,291	+ 1,975
負債合計	15,318	16,373	+ 1,054
資本合計	23,275	29,121	+ 5,846

【連結】B/Sのポイント（前期末比）

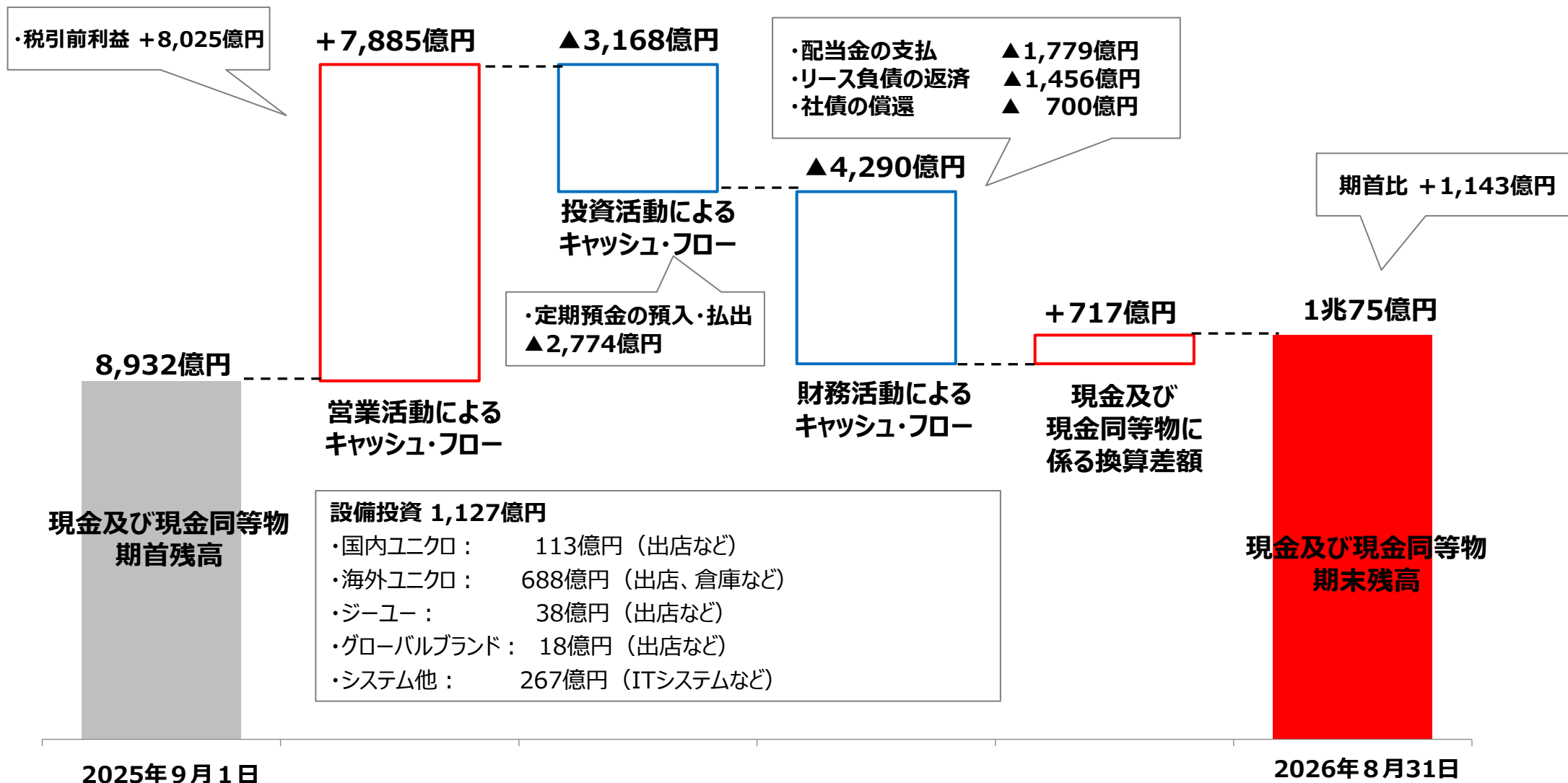
資産合計：+6,901億円（3兆8,593億円→4兆5,494億円）

- ・現金及び現金同等物・その他金融資産：+4,115億円（2兆1,053億円⇒2兆5,169億円）
ユニクロ事業を中心に、営業キャッシュ・フローの増加による
- ・有形固定資産・使用権資産：+1,096億円（8,094億円→9,191億円）
新規出店や自動化倉庫への投資を進め、事業成長に向けた基盤を強化していることによる
- ・棚卸資産：+1,062億円（5,109億円→6,172億円）
 - ✓ 海外UQ：+882億円。事業の拡大に伴って増加
 - ✓ 国内UQ：+146億円。主に夏物商品の在庫が増加も、コア商品が中心のため、来期にかけて販売する計画
 - ✓ GU：+12億円、グローバルブランド：+21億円

負債合計：+1,054億円（1兆5,318億円→1兆6,373億円）

- ・買掛金及びその他の短期債務：+910億円（3,901億円→4,812億円）
事業成長に伴い、仕入が増加したため
- ・リース負債（短期・長期）：+748億円（5,135億円→5,883億円）
出店や自動化倉庫へ積極的に投資しているため

【連結】2026年8月期 キャッシュ・フロー



※IFRS16号の適用により、営業活動によるキャッシュ・フローの収入が約1,300億円増加、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が同額程度増加。この会計基準の変更による最終的なキャッシュ・フローへの影響はなし。

【連結】2027年8月期 通期業績予想

大幅な増収増益、過去最高の業績を見込む

- ・金融収益・費用は、500億円のプラスを見込む。債券の運用などに伴う受取・支払利息が、前期実績と同程度発生する見込み
- ・為替差損益は、期初の為替レート1ドル160.0円を前提とし、現時点では見込んでいない

単位：億円	2026年8月期 通期実績	2027年8月期	
		通期予想 (10/8 時点)	前期比
売上収益	39,633	44,500	+12.3%
事業利益 (売上比)	7,184 18.1%	8,300 18.7%	+15.5% +0.6 p
その他収益・費用	246	-	-
営業利益 (売上比)	7,431 18.7%	8,300 18.7%	+11.7% -
金融収益・費用	593	500	▲15.8%
税引前利益 (売上比)	8,025 20.2%	8,800 19.8%	+9.7% ▲0.4 p
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (売上比)	5,425 13.7%	5,600 12.6%	+3.2% ▲1.1 p

海外ユニクロ事業：上期、下期、通期ともに、2桁の増収増益を見込む

- ・通期の事業利益率は若干の改善を見込む

【グレーターチャイナ】

- ・上期は増収増益、下期、通期は増収、2桁の増益を見込む

- ✓ 中国大陸は、事業構造改革を継続的に推進することで、通期は増収、2桁の増益、事業利益率は改善する予想
上期は増収増益の予想。粗利益率は値引率の改善により上昇する見込み
販管費比率は、賞与の引当の増加などにより、人件費比率を中心に若干上昇する見込み
下期は増収、2桁の増益を見込む。粗利益率、販管費比率はともに改善する予想
- ✓ 香港・台湾は、上期、下期、通期ともに増収、2桁増益の見込み

【韓国、東南アジア・インド・豪州地区】

- ・上期、下期、通期ともに2桁の増収増益を見込む
- ・通期の粗利益率は、若干低下する予想。いくつかの事業で、ドルに対し、現地通貨安となり、原価率が上昇することによる
- ・売上の拡大に伴う固定費比率の改善、店舗オペレーションや広告宣伝費の効率化により、
販管費比率を改善することで、通期の事業利益率は前年並みとなる見込み

海外ユニクロ事業：上期、下期、通期ともに、2桁の増収増益を見込む

【北米】

- ・上期、下期、通期ともに2桁の増収増益、事業利益率は若干改善する予想
- ・通期の粗利益率は、ほぼ前年並みの水準となる見込み
- ・通期の販管費比率は、売上成長に伴う固定費比率の改善や人時生産性の改善などにより、若干改善する見込み

【欧州】

- ・上期、下期、通期ともに、2桁の増収増益、事業利益率は改善することを見込む
- ・通期の粗利益率は、輸送費の高騰により原価率が上昇する影響を受け、若干低下する見込み
- ・通期の販管費比率は、改善する予想。売上拡大に伴い固定費比率が改善することに加え、
物流費比率が改善することを見込んでいるため

2027年8月期 各事業の通期業績予想（3）

国内ユニクロ事業：上期、下期、通期ともに、増収、事業利益は前年並みの見込み

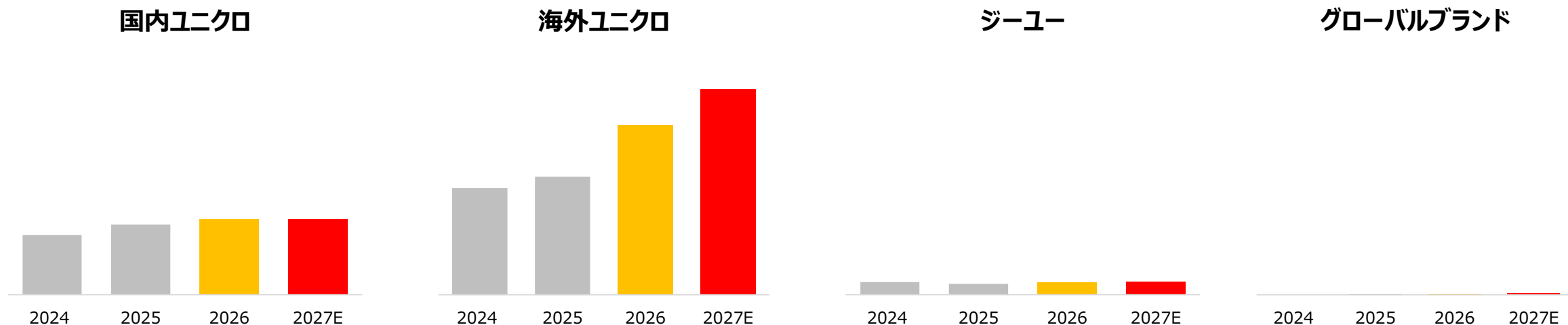
- ・既存店売上高は、通期で約2%の増収を見込む
- ・粗利益率は、上期、下期ともに若干低下する見込み。値引率の改善に取り組む一方で、調達に使用する為替予約のレートが円安となり、原価率が上昇する影響が大きい
- ・販管費比率は、前年並みの見込み
- ・円安の影響など、コストが増加する局面なので、適正な在庫運営を一層強化し、収益構造を変革することで、前年と同程度の利益の確保をめざす
- ・個店経営に磨きをかけ、お客様のニーズを深掘りし、既存のお客様の満足度を高めるだけでなく、新規のお客様の獲得をめざす

2027年8月期 各事業の通期業績予想（4）

ジーユー事業：上期、下期、通期ともに、増収増益の見込み

- ・今期から商品全体を刷新し、ジーユーのブランドコンセプトである「低価格とファッション」を商品、店舗、E Cで具現化
- ・9月時点では新しいジーユーをお客様に十分にお伝えし切れていないため、販売は計画を下回っているが、秋冬商戦の本番である10月、11月に向けて、魅力的な売場づくり、マーケティングをさらに強化し、挽回していく計画
- ・通期の事業利益率は低下する予想。粗利益率が、調達に使用する為替レートが円安となり原価率が上昇し、低下する見込みのため。商品計画の精度向上により、値引率は改善する計画
- ・通期の販管費比率は、売上拡大に伴う固定費比率の改善、人時生産性や在庫効率、配送効率の向上により、改善する見込み

■ セグメント別 通期の事業利益のトレンド



グローバルブランド事業：上期、下期、通期ともに、増収増益の見込み

【セオリー事業】

- ・通期で増収増益となる見込み
- ・商品、売場、ブランディング、マーケティングなど、グローバルで事業構造改革をさらに進めていく計画
- ・今期は、品番数を絞り込み、商品価値が伝わるマーケティングを強化することで、
コア商品を中心に戦略的に売り込んでいく計画。同時に、販売計画、SKU管理の精度を上げ、お客様満足を高める

【プラステ事業】

- ・通期で増収増益を見込む。好調な素材を軸に、店舗・E Cでの打ち出し、情報発信を強化、
ボトムス群、メンズ商品の拡大も図る

【コントワー・デ・コトニエ/プリンセス タム・タム事業】

- ・通期で増収、赤字幅の縮小を見込む。戦略的に売り込む商品へ在庫、マーケティングを集中させ、売上の拡大を図ると同時に、
売場の変革を進め、ブランディングを強化する計画

2027年8月期 配当金

2026年8月期 年間配当金850円を予定
2027年8月期 年間配当金900円を見込む

- ・中長期的な事業成長を最優先課題とし、世界各地で旗艦店の出店、サプライチェーン、人材育成、デジタル化への投資など、将来の成長に向けた積極的な投資を行っていく計画
- ・この数年、欧米をはじめとする海外ユニクロ事業の業績が拡大し、多様な収益の柱を確立できたことで、安定したキャッシュ創出力が向上。成長投資を積極的に実施してもなお、十分な資金を確保できる状況
- ・株主への還元として配当性向を50%程度へ引き上げ、高成長を最優先としながら、高還元を両立する新たなステージに入った
- ・今後も、中長期的な事業成長と株主還元の最適なバランスを追求しながら、継続的に資本コストを十分に上回るROEの実現をめざす

	1株当たり配当金		
	中間	期末	通期
2025年8月期	240円	260円	500円
2026年8月期（7/9 予想）	320円	320円	640円
2026年8月期（10/8 修正予想）※1	320円	530円	850円
2027年8月期 予想（10/9 予想）※2	450円	450円	900円
前期比	+130円	▲80円	+50円

※1 2026年8月期の期末配当金は、2026年11月5日開催予定の当社取締役会での決議を前提としております。

※2 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、配当金を変更することがあります。

＜参考資料＞ 出退店（１）

単位：店舗	2025年8月期	2026年8月期（2025/9～2026/8）実績				2027年8月期（2026/9～2027/8）予想			
	期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
ユニクロ事業	2,519	115	135	▲20	2,499	125	90	+35	2,534
国内ユニクロ事業 ※	794	22	34	▲12	782	20	20	0	782
直営店	784	22	34	▲12	772	-	-	-	-
FC	10	0	0	0	10	-	-	-	-
海外ユニクロ事業	1,725	93	101	▲8	1,717	105	70	+35	1,752
グレーターチャイナ	1,008	24	74	▲50	958	30	-	-	-
中国大陸	902	20	71	▲51	851	-	-	-	-
香港	35	0	0	0	35	-	-	-	-
台湾	71	4	3	+1	72	-	-	-	-
韓国	132	13	16	▲3	129	10	-	-	-
東南アジア・インド・豪州	397	23	9	+14	411	30	-	-	-
シンガポール	29	1	1	0	29	-	-	-	-
マレーシア	59	2	1	+1	60	-	-	-	-
タイ	70	4	1	+3	73	-	-	-	-
フィリピン	77	6	3	+3	80	-	-	-	-
インドネシア	77	3	3	0	77	-	-	-	-
オーストラリア	40	0	0	0	40	-	-	-	-
ベトナム	29	3	0	+3	32	-	-	-	-
インド	16	4	0	+4	20	-	-	-	-

（次のページへ続く）

注） ミーナ事業、ポップアップストアの店舗は含まない

※ フランチャイズ店を含む

＜参考資料＞ 出退店（２）

単位：店舗	2025年8月期	2026年8月期（2025/9～2026/8）実績				2027年8月期（2026/9～2027/8）予想			
	期末	出店	退店	純増減	期末	出店	退店	純増減	期末
海外ユニクロ事業									
北米	106	20	2	+18	124	20	-	-	-
米国	75	13	2	+11	86	-	-	-	-
カナダ	31	7	0	+7	38	-	-	-	-
欧州	82	13	0	+13	95	15	-	-	-
英国	21	3	0	+3	24	-	-	-	-
フランス	27	3	0	+3	30	-	-	-	-
ドイツ	9	4	0	+4	13	-	-	-	-
ベルギー	2	1	0	+1	3	-	-	-	-
スペイン	7	0	0	0	7	-	-	-	-
スウェーデン	3	0	0	0	3	-	-	-	-
オランダ	5	1	0	+1	6	-	-	-	-
デンマーク	2	0	0	0	2	-	-	-	-
イタリア	4	0	0	0	4	-	-	-	-
ルクセンブルク	1	0	0	0	1	-	-	-	-
ポーランド	1	1	0	+1	2	-	-	-	-
ジーユー事業	486	16	21	▲5	481	25	16	+9	490
グローバルブランド事業	565	22	57	▲35	530	25	34	▲9	521
セオリー事業 ※	426	16	29	▲13	413	-	-	-	-
プラステ事業	41	5	6	▲1	40	-	-	-	-
CDC/PTT事業 ※	98	1	22	▲21	77	-	-	-	-
総 合 計	3,570	153	213	▲60	3,510	175	140	+35	3,545

注） ミーナ事業、ポップアップストアの店舗は含まない

※ フランチャイズ店を含む

＜参考資料＞ 為替レート

＜連結決算取込 為替レート＞

単位：円	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2025年8月期 通期（12カ月平均）実績	148.7	162.9	193.9	20.6	10.6
2026年8月期 通期（12カ月平均）実績	156.2	181.8	209.3	22.5	10.7
2027年8月期 通期（12カ月平均）予想	156.2	181.8	209.3	22.5	10.7

＜バランスシート適用 為替レート＞

単位：円	1USD	1EUR	1GBP	1RMB	100KRW
2025年8月期 期末為替レート 実績	146.9	171.4	198.5	20.6	10.6
2026年8月期 期末為替レート 実績	160.0	185.5	216.7	23.8	11.6
2027年8月期 期末為替レート 予想	160.0	185.5	216.7	23.8	11.6

<参考資料> 設備投資・減価償却費

<設備投資・減価償却費>

単位：億円	設備投資						減価償却費
	国内 ユニクロ	海外 ユニクロ	ジーユー	グローバル ブランド	システム他	合計	
2025年8月期 通期実績（12カ月累計）	151	1,200	77	14	274	1,719	2,164
2026年8月期 通期実績（12カ月累計）	113	688	38	18	267	1,127	2,372
2027年8月期 通期予想（12カ月累計）	120	874	40	17	282	1,334	2,400